

留 学 報 告 書

記入日: 2016 年6月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部/文学科/英米文学専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ジョージア大学 現地言語: 英語
留学期間	2015 年 8 月～2016 年5月
留学した時の学年	2 年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016 年 5 月 22 日
明治大学卒業予定年	2018 年 3 月



留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8 月上旬~12 月上旬 2 学期:1 月上旬~5 月上旬 3 学期: (記入例/1 学期:4 月上旬~7 月下旬, 2 学期:9 月中旬~2 月上旬)
学生数	Undergraduate:27,547 Graduate/Professional: 8,583 (Fall2015)
創立年	1785 年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料		円	協定留学のため授業料なし。
宿舍費	6,640	796,800 円	
食費	2,500	300,000 円	
図書費	500	60,000 円	テキスト代
学用品費	50	6,000 円	
教養娯楽費	500	60,000 円	
被服費	200	2,400 円	
医療費		円	
保険費	1,800	216,000 円	形態: 明治とジョージア大学側の保険
渡航旅費	2,200	260,000 円	
雑費	3,000	360,000 円	旅行
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	17,390	2,086,800 円	1ドル=120円で計算

渡航関連

渡航経路:

往路:成田→アトランタ

復路:アトランタ→成田

渡航費用

チケットの種類 往復で購入

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 26 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明大サポート

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

East Campus Village

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3)住居を探した方法:

大学の斡旋。留学生は必ず East Campus Village に住むことになります。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キッチン付きアパートタイプの寮です。4人で住むことになりましたが、1人ずつ個室があるので快適です。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

Office of International Education

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

学内で犯罪等があった際はメールで連絡がありました。盗難被害にあった事はありませんが、貴重品の管理には注意しました。また、キャンパス内も夜中に一人で外出することは避けました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学キャンパス内は wifi が繋がるので困る事はほとんどありませんでした。寮も wifi が繋がりますが部屋によっては繋がりにくい場合もあるようです。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Bank of America で口座を開設し、日本から送金してもらいました。オリエンテーション期間中にいくつか銀行が大学に来て、口座開設の手続きをしました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

自炊する予定があれば菜箸等があると便利です。またコンタクトレンズ、常備薬、化粧品など使い慣れた物は日本から持っていくことをおすすめします。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
1102 Introduction to Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	Fall2015
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Jason J.Gonzalez
授業内容	文化と言語、人類と進化、宗教など
試験・課題など	・テスト4回(Final を抜いて1番低い点数のテストの結果は成績に含まれない) ・グループワーク ・エッセイ
感想を自由記入	学生数約300人ほどの大授業。出席は毎回取り、クイズとディスカッションは頻繁にある。テストはマークシートとエッセイの組み合わせで、配点が半々なため、記述の問題は点数を落としやすく難易度が高い。セメスターの終わりに10枚ほどのエッセイ課題がある。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
1101 Introduction of Sociology	社会学概論
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	Fall2015
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. E.M. Beck
授業内容	アメリカの犯罪、宗教、教育、政治、経済など
試験・課題など	テストが3回。マークシート形式。課題なし。
感想を自由記入	出席点やエッセイ課題なし。テストはマークシート形式。授業ではグラフを頻繁に使い、テストでも聞かれる。他の授業と異なり、暗記というよりもアメリカ社会の変化や流れをしっかりと理解しなければならなかったのでセメスターの始めは苦労した。TA の方が親切だったので頻繁にオフィスに質問に行った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
1101 Elementary Psychology	心理学概論
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	Fall2015
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Janet Frick
授業内容	心理学の歴史、脳のメカニズム、記憶のメカニズム、人格など
試験・課題など	テストは4回。(Final を抜いて1番低いテストの結果は成績に含まれない) クイズやグループワークが頻繁にある。
感想を自由記入	学生数 300 人ほどの大授業。この授業ではオンラインテキストを使用していたためテキスト代がかからなかった。テストはマークシートで比較的簡単。グループワークが頻繁にあり、友達作りもできたのでよかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
2340 Literature of the United States from 1865 to the Present	1865 年から現在までのアメリカ文学
科目設置学部・研究科	English
履修期間	Fall2015
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. Paul Quick
授業内容	アメリカ文学。Emily Dickinson, Ernest Hemingway, Sherman Alexie など。
試験・課題など	エッセイ課題4回。テスト3回。プレゼンテーション1回。
感想を自由記入	課題が多いのと膨大な量のリーディングに追われ、かなり大変だった。授業自体もレベルが高く、エッセイはテーマから自分で決めなくてはならなかったのが苦労した。けれど同時に非常にやりがいのある授業だったと思う。教授はとても面白く、生徒からの信頼も厚かった。オフィスアワーには頻繁に顔を出し、エッセイの内容を確認してもらったりした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
3200 The Anthropology of Consumption and Globalization	消費活動とグローバル化
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	Spring2016
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. Brosius
授業内容	世界経済、環境問題、食糧問題などについて文化人類学の視点から考える。
試験・課題など	テスト3回。エッセイ方式。
感想を自由記入	履修した授業の中で1番難易度が高かった。授業は専門性が高く、内容も抽象的なため、理解するのが難しかった。学生もほぼ3、4年生だった。リーディングも膨大な量で毎回の授業で20ページ以上の記事が3つほど割り当てられていたので、予習が大変だった。テストは授業で扱った単語や法令の説明とリーディングの要約。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
2820 Race and Ethnicity in America		アメリカ社会における人種と民族性	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	Spring2016		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Jeffrey A. Gardner		
授業内容	アメリカ社会における Race と Ethnicity の考え方。人種差別の歴史。差別がどのように作り出されるのかとその解決方法。		
試験・課題など	テスト3回。マークシートとエッセイ方式。エッセイ課題とプレゼンテーション。		
感想を自由記入	大学院生の方が授業をしていて学生との距離が近い感じがした。授業はアメリカでの人種についての考え方や差別について学ぶので悲しい内容が多かったが興味深く、アメリカでしか受けられない授業だと思う。テストもそれほどそれほど難しくなかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
3230 Abnormal Psychology		異常心理学	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	Spring2016		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 70 分が 2 回		
担当教授	Ana Gutierrez Colina, Molly Davis		
授業内容	異常行動について学ぶ。不安障害、睡眠障害、摂食障害、統合失調症など。		
試験・課題など	テスト4回、マークシート形式。心理学の研究論文の要約2回。ケーススタディー1回。		
感想を自由記入	大学院生による授業。テストはマークシートなので難易度は低い。課題が比較的多く、APA 方式で書くことに慣れていなかったので書き方を教わった。授業で様々な異常行動について学び、興味深くとてもおもしろかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
2400 Multicultural Literature in America		多文化アメリカ文学	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	Spring2016		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 70 分が 2 回		
担当教授	Dr. Signe O.Wegener		
授業内容	文学		
試験・課題など	テスト2回、エッセイ方式。エッセイ2回。プレゼンテーション。		
感想を自由記入	文学の授業なので、授業の予習は欠かせないが ESL の授業を教えていた経験のある教授なので、留学生に理解がある。教授は SF が好きでタイムトラベルを扱った作品が多く、とてもおもしろかった。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	IELTS の勉強。
10月～12月	10月：IELTS 受験。学内選考出願準備。 11月：留学計画書提出
2015年 1月～3月	1月：学内選考合格
4月～7月	5月下旬：ジョージア大学から受け入れ通知が届く。 6月上旬：J-1 ビザの申請。保険の申し込みと航空券の購入。 7月下旬：期末テストに追われながら留学準備。
8月～9月	8/3：出国 8/4-8/10：留学生向けオリエンテーション 8月上旬：秋学期開始
10月～12月	12月上旬：期末テスト 12月中旬～下旬：フロリダ・カリフォルニア旅行[冬休み]
2016年 1月～3月	1月上旬：春学期開始 3月中旬：ニューヨーク旅行[春休み]
4月～7月	5月上旬：期末テスト 5月中旬：フロリダ旅行 5月下旬：帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校時代にニュージーランドに3ヶ月の短期留学をしたことから、大学に入ったら長期の留学をしたいと思っていました。語学力のブラッシュアップと同時に、英語圏の大学は文学系の授業も充実している印象があったので、興味があった米文学を学んで、卒論に活かしたいと考えていました。
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	語学力の向上だと思えます。留学中は膨大な量のリーディングとライティングの課題があり、留学当初は課題が溜まる一方で苦勞しました。特に文学の授業は週に1冊以上読まなければならない上に、しっかり理解した上で授業に参加しなければならなかったため、授業についていけず苦勞した時期もありました。TOEFL や IELTS の点数がとれても引き続き英語の勉強を続けることで、留学先で得られるものは多くなると思います。
この留学先を選んだ理由	米文学に興味があったのでアメリカの大学を希望していました。ジョージア大学が米国最古の公立大学であることと広大なキャンパスに惹かれました。またアトランタも車で1時間ほどの距離にあるので都会と郊外の両方の雰囲気を楽しめると思い、選びました。
大学・学生の雰囲気	とても大きな大学で、学生数も多いです。図書館は夜の2時まで開いていますし、MLCと呼ばれる自習によく使われる建物は24時間開いています。食堂は5つあり、それ以外にも食事できる場所があります。フットボールが強いことで有名で、シーズンになると町全体が盛り上がります。大学を出たすぐ近くにダウンタウンがあり、週末の夜は学生で賑わっていました。
寮の雰囲気	留学生がキャンパス内に住む場合、寮は必ず East Campus Village になります。ECV はジョージア大学で1番新しい寮です。料理教室やテスト前は寮の入り口でドーナツとコーヒーをくれたり、イベントを頻繁にしています。すぐ近くに食堂やジムがあり、冬休みや春休みなどの長期休暇中も唯一開いている寮なのでとても便利です。留学生のほとんどはこの寮に住んでいるので交友関係も広がられます。
交友関係	留学生向けオリエンテーションではたくさんの留学生の友達が出来ました。みんな留学生は East Campus Village に住んでいたのと一緒に食事したりパーティーをしたりする機会が多く、友達は作りやすかったです。またルームメイトとは驚くほど気が合い、一緒に映画を観たり、買い物に出かけたり、休暇中は一緒に旅行へ行くなどしました。
困ったこと、大変だったこと	買い物だと思えます。大学の近くにスーパーがなくバスに乗らなければならないのですが、そのバスも1時間に1本しかなく、不便でした。私自身はルームメイトと友人が車を持っていたので一緒に買い物に連れて行ってもらっていました。現地の学生は車を持っている場合が多いので、お願いすると親切に買い物等連れて行ってもらえると思います。
学習内容・勉強について	専攻は英米文学なので、米文学の授業を中心に履修しました。文学系の授業は1週間に1冊の本を読まなければならないので、リーディングの面で苦勞しました。どんな授業でも必ずリーディングがありますし、予習が必要だと思うので、なるべく溜め込まずにコツコツとやるのが大切だと思います。私は午前中に授業を受け、午後の時間は予習や復習に当てるようにしていました。授業ではディスカッションが多く初めは緊張しましたが、教授やクラスメイトのサポートもあり、頑張れたと思います。教授によっては授業を録音させてくれる場合もあります。
課題・試験について	課題の量は本当に膨大で、睡眠時間を削りながら勉強する時期もありました。エッセイなどはアメリカ人の友人に添削してもらって文法ミスや論が浅いところを直してから提出するようにしていました。テストは思った以上に結果が出てこないこともあり、辛かったこともありますが、結果が出た時の喜びは何にも変えられないと思います。
大学外の活動について	友人と一緒に料理したり、映画を観たりしていました。また日本語を勉強したい人が集まるサークルがあったので、それに顔を出したりしていました。
留学を志す人へ	諦めずに取り組み続けることです。簡単なように思えますが、結果が出ない中で努力し続けることの難しさは留学中、身をもって実感しました。頑張ったのに思ったよりテストができていなかったなど、思うようにいかないことが留学中はたくさんあります。落ち込むこともありますが努力していないわけではありません。めげずに頑張れば、留学でしか得られない充実感があります。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業		
	授業	授業	授業	授業	授業		
午後	自習	自習	自習	自習	自習		
夕刻			課外活動				
夜	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習